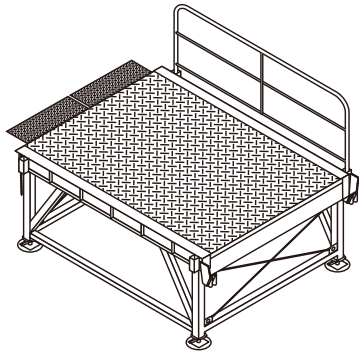


連結式バンニングスロープの取り扱いについて

バンニングスロープの取扱いは、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになりました後いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

※作業荷重 8000Kg 以下（リフト自重 3.0t 以下+荷物）

架台 1 のサイドガード



サイドガードを抜くと横から荷物の出し入れができます。

注意

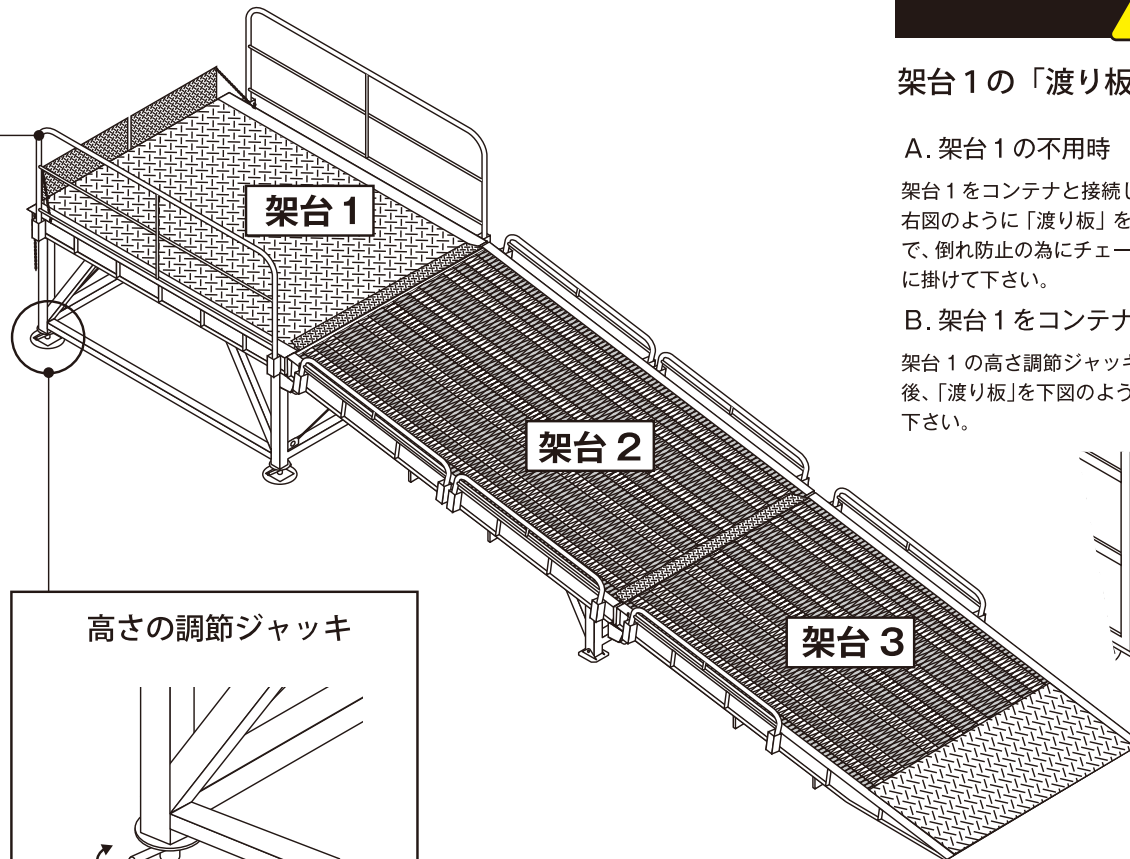
架台 2、3 のサイドガードについて
セットされたサイドガードは安心して
作業していただくための「目視用安全ガ
ード」であり、乗り越え転落防止用のガ
ードではありません。
作業時は常にサイドガードから車輪が
出ることの無いよう、架台内にて運転操
作をして下さい。

注意

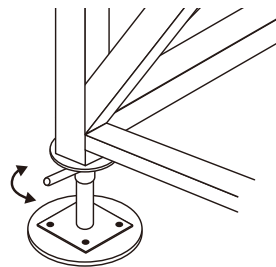
雨天時のご使用は滑りやすくなります
のでご注意ください。

注意

作業前には目視点検を行い、破損がある
場合は使用中止願います。



高さの調節ジャッキ



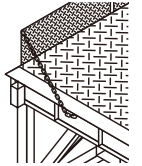
脚が浮いている状態で図のレバーを
廻して脚の高さを調節します。
その際、地面の凸凹にジャッキが確
実に下がるまで固定して下さい。
※設置した状態でバーを廻すと破損
する恐れがあります。

注意

架台 1 の「渡り板」部の取り扱いについて

A. 架台 1 の不用時

架台 1 をコンテナと接続しない時は、
右図のように「渡り板」を立てた状態
で、倒れ防止の為にチェーンをフック
に掛けて下さい。



B. 架台 1 をコンテナと接続時

架台 1 の高さ調節ジャッキで、架台とコンテナ床面を調節した
後、「渡り板」を下図のように、2/3 以上コンテナ床上に載せて
下さい。



注意

スロープ部での再発進（坂道発進）時は、必ず
サイドブレーキを使用し、ゆっくり発進して
下さい。

注意

バンニングスロープをコンテナからはずす時
は、架台 1 の「渡り板」を立てた後に付属のク
サリを掛け、安全を図って下さい。

※カウンター式フォークリフト専用となります。

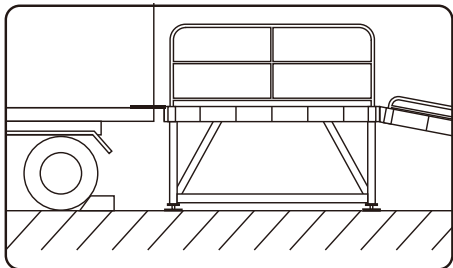
※架台 1、2、3 をセットする場合は、荷重 2500Kg 以上のリフトをご用意下さい。

※爪長が 1650mm 以上必要です。

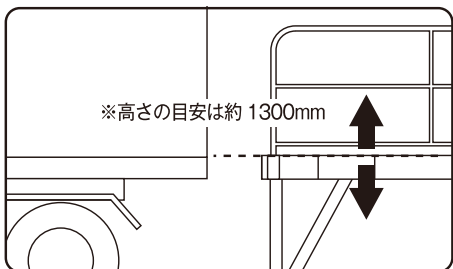
連結式バンニングスロープの組立について

バンニングスロープの組立ては、この説明書をよくお読みの上、順序よく組み立てて下さい。
安全に充分ご注意の上フォークリフトを操作し、架台1から順番に、コンテナにセットして下さい。

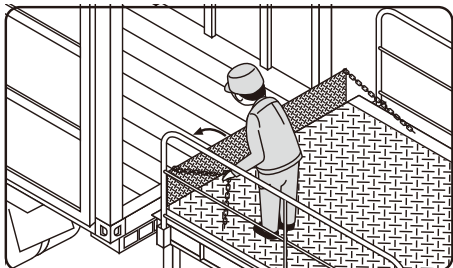
- 1** 組立て場所、コンテナとのセットの際は、フラットな場所を選んでください。



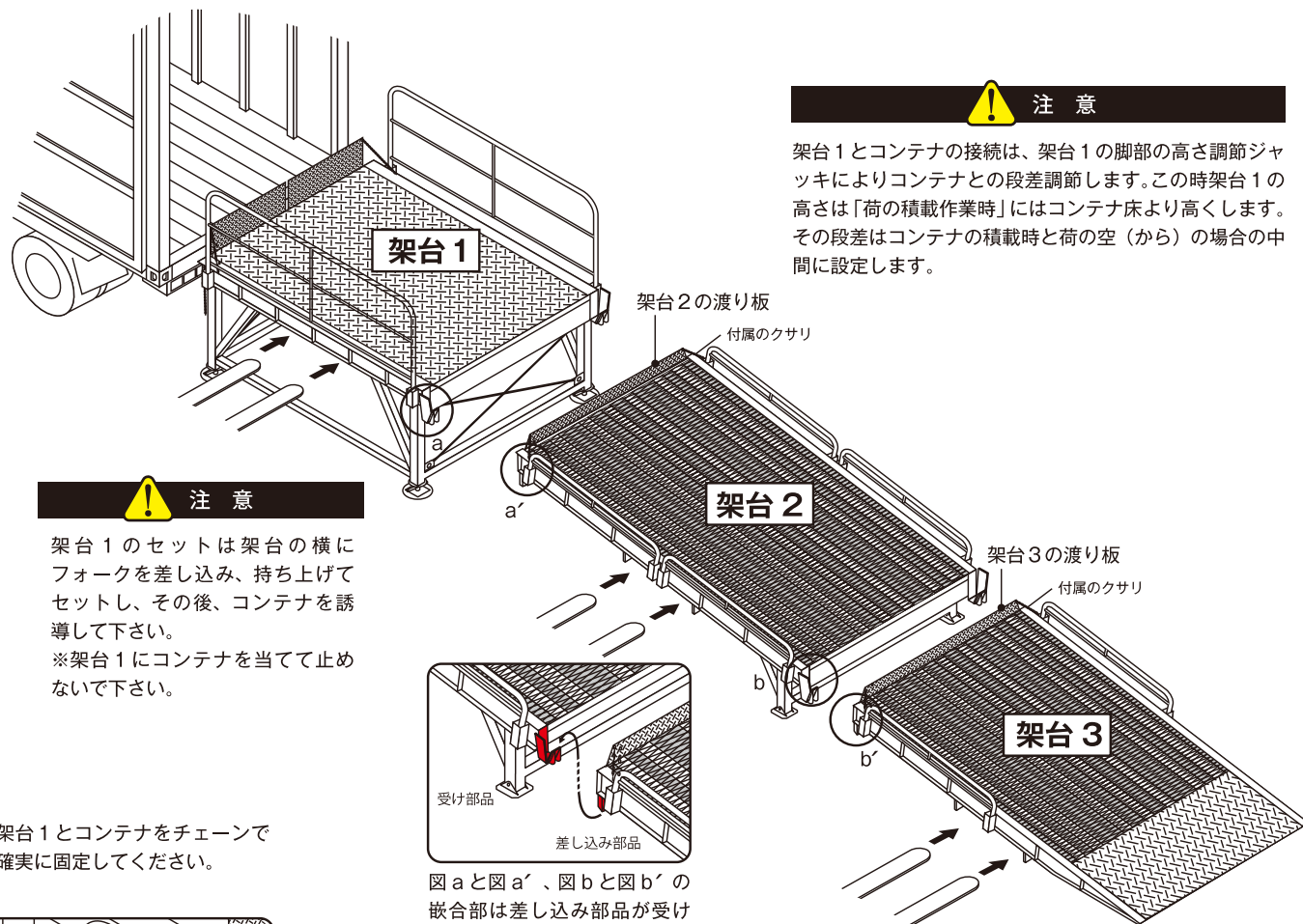
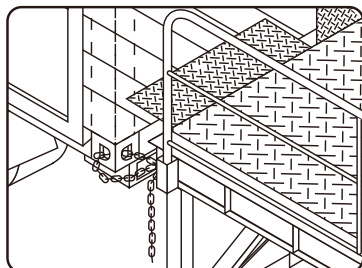
- 2** 荷積載時のコンテナ床面高さと同下ろし時の床面高さの中間に架台1の高さを設定してください。



- 3** 架台1の高さ調節ジャッキで床面の高さを調節します。その後架台3まで設置後に渡板を2/3以上差し渡してください。



- 4** 架台1とコンテナをチェーンで確実に固定してください。



注意

架台1のセットは架台の横にフォークを差し込み、持ち上げてセットし、その後、コンテナを誘導して下さい。
※架台1にコンテナを当てて止めないで下さい。

図aと図a'、図bと図b'の嵌合部は差し込み部品が受け部品にきちんと差し込まれているか確認して下さい。

- 5** つづいて架台1と架台2のセットは、フォークのツメを横から差し込んで移動します。図aと図a'の組立て嵌合部分のはめ込みを確認しながら、フォークリフトを調節して組み立てます。その後、架台2の渡り板を降ろして下さい。

注意

架台1とコンテナの接続は、架台1の脚部の高さ調節ジャッキによりコンテナとの段差調節します。この時架台1の高さは「荷の積載作業時」にはコンテナ床より高くします。その段差はコンテナの積載時と荷の空(から)の場合の中間に設定します。

- 6** 架台2と架台3のセットも同様に、フォークのツメを上図のように横から差し込んで移動します。図bと図b'の組立て嵌合部分を慎重にはめ込んで、ゆっくり架台3を降ろしてください。その後、架台3の渡り板を降ろして下さい。